

2024年度 第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

アンケート調査結果

【開催日】

2024年7月5日（金）

【時 間】

18:30～20:00

【形 式】

ハイブリッド開催（会場+オンライン）

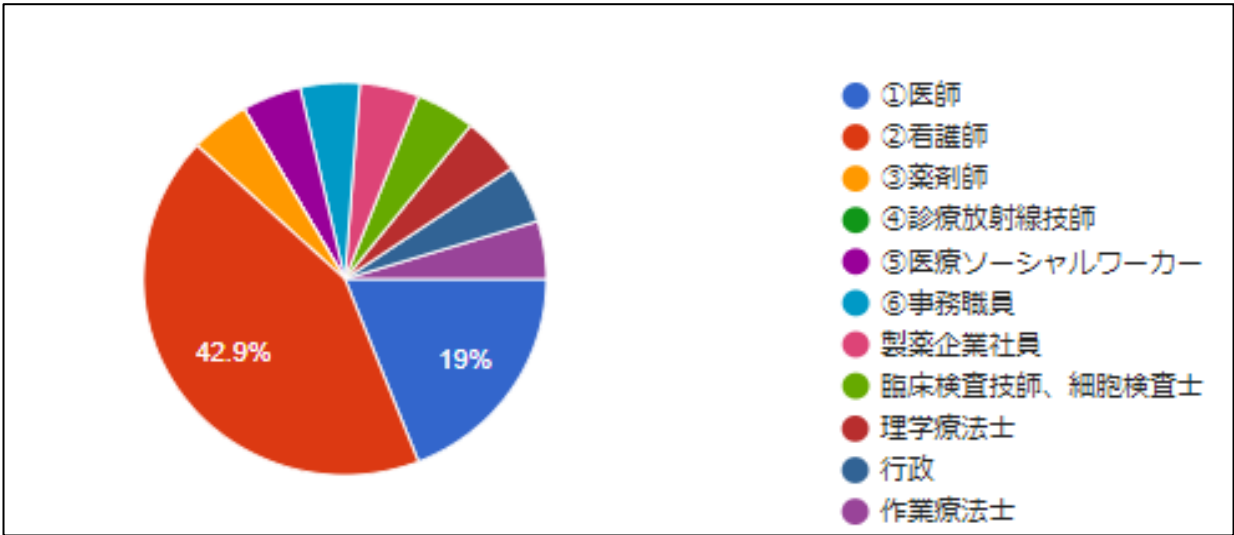
【出席者】

94名

【回答者】

23名

※回答者割合は下記グラフのとおり



【出席者 内訳】										
施設名 職 種	大学	みなと	佐世保市 総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師・歯科医師	12	0	1	1	3	0	2	1	9	29
薬剤師	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
看護師	14	2	0	0	0	0	4	0	10	30
放射線技師	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
臨床検査技師	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
MSW	2	0	1	0	2	1	1	0	0	7
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
作業療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
臨床心理士	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
介護福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
事務職員	2	0	1	0	0	0	2	1	6	12
不明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	30	2	4	2	5	1	11	2	37	94

【今回の講演について】

①よかったところ

- ・がん患者さんは病院の選択をするときに、特に参考になっていることや情報収集はしていないとのこと。しっかりと医療者も学び、患者さんにわかるように説明できるよう情報提供する必要があるとおもった。（看護師）
- ・現状について大変勉強になりました。（製薬企業社員）
- ・ご講演で長崎のがん治療の課題が少しわかった（医師）
- ・全国どこでも自分に適切したがん治療が受けられる施設を調べられる体制が整えられつつあること。（薬剤師）
- ・長崎県の主要な病院のがん治療の一覧が見れた。（医師）
- ・他の都道府県の情報提供がどのように行われているのかを知ることができた（看護師）
- ・がん医療の今後の方向性の話がきけてよかった（看護師）
- ・他県のがん診療に対する取り組みを知ることができて良かった（看護師）
- ・分かりやすかった。（理学療法士）
- ・情報提供で創意工夫している都道府県の例を明示してもらったこと。（医師）
- ・他の都道府県のがん診療等の情報公開の方法や周知方法を知ることができました。（事務職員）
- ・他県の事例をたくさん知ることができ、大変参考になりました。医療体制の均てん化や集約化を目指すための、具体的な方策を教えてもらい、今後検討する上での参考になりました。（行政職員）
- ・最新のがん医療の動向を理解することができた（看護師）
- ・業務終了後に参加ができ、時間的に参加しやすかったです。（医療ソーシャルワーカー）
- ・他県の取り組みの実際について聞くことができて良かったです。（看護師）
- ・長崎のがん診療連携の現状が分かり良かったです。WEB開催もありがたいと思います。（作業療法士）
- ・がん医療均てん化、集約化の現状と課題が理解できた。・患者さんへ情報提供するためのHP作成について、放射線治療について看護師視点での情報が掲載されてないため、今回の研修会を受けて、こういった内容を掲載したほうがよいか参考にすることができた（看護師）
- ・基本的ながん診療の対策方針をきちんと確認できたこと（医師）
- ・非常にわかりやすかった（医師）
- ・均てん化と集約化の両立がよくわかった（医師）

②気になったところ

- ・患者さんのサポートサイトがあることをしり実際にみてみた。（看護師）
- ・地域医療構想や地域包括ケアシステムに即して、がん医療も大きく関わっているかと思います。緩和ケアに関しては地域緩和ケアの推進や地域連携の多岐にわたる分野で、医師会や行政とやっていかないと進まないと特にそう感じます。問題が山積しておりますので、行政（県）の力を発揮して頂き、地域医療を支える医療機関や介護施設など協働できるように進めていきたい（看護師）
- ・収益性をどう考えるか？それぞれのお立場があると理解致しましたが、調整が難しい事も理解致しました。（製薬企業社員）
- ・まだまだ地域によっては受けられるがん治療の機会が限られていること。（薬剤師）
- ・「がん」になった時の情報提供が積極的な「治療」のほうに力量がある点（看護師）
- ・ブロック注射について。（理学療法士）
- ・国は多くを提案しつつも、助言のみで責任を取らない姿勢がみえたこと。（医師）
- ・会場の音声が少し聞き取りづらい場面がありました。（こちらの設備の問題かもしれません）（行政職員）
- ・自施設における取り組みについて（看護師）
- ・質問にもあったように地方都市での対応は検討すべきと考えた（医師）
- ・PETなどの画像診断は今後どうなるのか（医師）

③講演に関する要望

- ・院内がん登録がどのように活かされているか？もう少し話をお伺いできますと幸いです（製薬企業社員）
- ・県北では交通機関の減便等によりがん治療の機会が失われつつあるとの事で、何とかならぬものかと感じました。（薬剤師）
- ・若干内容が過多であり、少し絞って提供いただくと有難い(必要な情報を全て下さっているのでしょうか)。（医師）
- ・ディスカッションでは拠点側もしくはへき地や地方の状況も聞いていただきたかったです。（作業療法士）
- ・若尾先生の基調講演はわかりやすいため、毎年お願いします。（看護師）
- ・当院としての対策など、個別事案に関しての情報も欲しかった（医師）

◆次回の講演で希望すること（内容、場所、日時など）

- ・がん関連の各職種における研修制度についてお伺いできますと幸いです。（製薬企業社員）
- ・18:30～19時過ぎまでは帰宅途中で交通機関車内からスマホ視聴。19時開始or週末開催なら助かります。（薬剤師）
- ・今のような感じでいいと思います。（医師）
- ・次回も同様のWeb配信があると有難いです。（事務職員）
- ・w e bで参加可能であれば参加しやすい為、継続をお願いしたいです。（医療ソーシャルワーカー）
- ・ハイブリッド開催だと、参加しやすいので、今後お願いします。（看護師）
- ・緩和医療について（医師）

◆がん診療センターに対するご要望をご記入ください

- ・いつも大変お世話になっております。（製薬企業社員）
- ・今後とも連携方よろしく願いいたします。（薬剤師）
- ・これからも頑張ってください。（医師）
- ・県とのパイプを更に太くし、情報の一元化を推し進めてほしいです。（医師）
- ・いつもきめ細やかにご配慮いただき、感謝申し上げます。（行政職員）